

9月30日は『クレーンの日』

第46回

趣 旨

「クレーンの日」は、1980年に設定されて以来、本年で第46回目になります。

第1回目に当たる80年におけるクレーン等による労働災害は、死傷者数は6,011人、死亡者数は184人で、以降は長期的には減少傾向にあります。

2023年のクレーン等による死傷者数は1,722人で前年と比べ128人(8%)の増加となり、コロナ禍前の15年と同程度まで増加したことから、気持ちを引き締めて一層の災害防止対策の強化が望まれます。

23年、厚生労働省より第14次労働災害防止計画が公表され、死亡災害については、「22年と比較して、27年までに5%以上減少させる」、死傷災害については、「増加傾向に歯止めをかけ27年までに減少させる」との目標が掲げられており、(一社)日本クレーン協会に対しても労働災害防止対策の推進に

特段の協力が要請されているところです。

クレーン等による労働災害・事故防止を図るためには、事業者はクレーン等の性能検査を受検し、定期自主検査および点検・整備を確実に実施し、機能・構造等の要件を常に良好な状態に保持するとともに、日本クレーン協会規格等を活用して適正な作業標準を作成することが重要です。

さらに事業者は、その責任のもと作業員に対してクレーン等の安全作業を行うための作業標準を徹底するなど、安全確保を図ることが求められており、また、作業員自身もクレーン等の運転および玉掛け作業について、定められた作業標準に基づきクレーン等の安全作業を行うことが必要です。特に災害の多い玉掛け・玉外しの作業においては、玉掛け作業の安全に係るガイドラインに基づき、つり荷の荷姿を確認するとともに、作業員相互の立ち位置を確認するな

ど、指差し呼称等により安全な状態であることを確認した後、クレーン等作業を安全に確実に進めることが重要です。このことから、25年度「クレーンの日」のスローガンを

「吊るす責任 支える誇り
クレーンが運ぶ確かな安全」

として展開します。

また、クレーン等作業に係る各種技能講習および特別教育に加えて、有資格者に対して法令改正、技術の進展等に伴う新たな知識の習得、技能を高めるための各種安全衛生教育を実施するなど、労働災害・事故防止のための教育を推進し、職場全体の安全衛生水準の向上を図ることにより、慣れと過信を取り除き、クレーン災害のない職場をつくりましょう。

日本クレーン協会



- 主唱者：一般社団法人日本クレーン協会
- 後 援：厚生労働省
- 実施者：クレーン等関係者

災害のトータル補償
一般社団法人
全国建設業労災互助会
会 長 松 井 隆 弘
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-7-1(ミツワ小川町ビル5F)
TEL.03(3518)6551 FAX.03(3518)6585
URL <https://rousaigojyokai.or.jp/>

～確かな技術 豊かな経験～
重機仮設工事
株式会社 五 勇 組
山形県酒田市広野字荒田78番地の2
TEL0234-92-2439 FAX0234-92-3460

進展する地域とともに歩む
営業品目 橋梁・水管橋・水門・水圧鉄管・除塵機・クレーン・調査設計
東開工業株式会社
代表取締役 高 野 次 郎
本社・工場／福島市佐倉下字観音堂11-3
TEL(024)593-4000代・FAX(024)593-4042
営 業 所／仙台



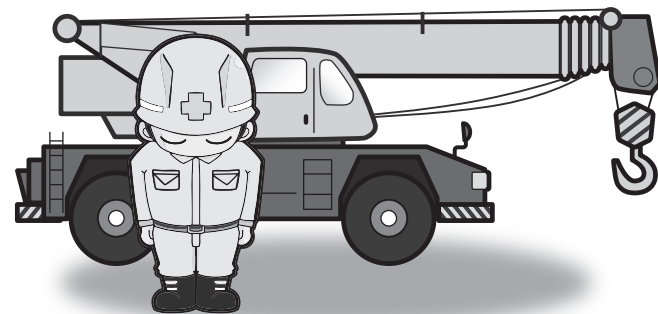
一般社団法人 全国クレーン建設業協会 宮城支部

適正な作業料金が、安全確保の近道

若い人材の育成

安心安全な職場環境確保

次世代への技能の継承



現役クレーンオペレーターの生活、また将来の担い手育成のためにも
「適正な作業料金」について再考をお願いいたします。

作業当日の回送を伴う全ての自走式クレーン車

作業時間
変更

基本作業時間 **8:00～15:00**
基本作業時間に合わせた工期見直し

2024年4月1日建設業の「働き方改革」スタート

▶新たな時間外労働規制・罰則付き
残業時間の上限は、原則として月45時間・年360時間となり、臨時的な特別の事情がなければ、これを超えることはできません。

[臨時的な特別の事情がある場合の上限]

1. 時間外労働が年720時間以内
2. 時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満
3. 時間外労働と休日労働の合計について2～6カ月平均80時間以内
4. 時間外労働が月45時間を超えることができるのは年6回が限度

就業時間

出庫から入庫までの
移動時間を含めた
施工計画

安全性

「移動式クレーン
運転士安全衛生教育」
受講者の優先使用

適正料金

発注者と
受注者間での
適正なクレーン作業
料金の取り決め

当協会は信頼と技術と安全のスペシャリストです。
クレーン工事はぜひ当協会会員をご用命ください

宮城支部長
成澤 隆二

- 青木機工建設(株)
仙台営業所
- イースト松島機工(株)
- (有)小川重機工業
- (有)北宮城クレーン
- (有)紺野重機
- (有)佐藤重機興業
(仙台市)
- (有)佐藤重機興業
(気仙沼市)
- (有)斉忠建設
- シミズ(株)
- 新北上重機工業(株)

- 新港機工(株)
- (株)菅原重機
- (有)スマイルワークス
- 全豊興業(株)
- 大栄重機工業(株)
- (株)中條重機
- (有)東北特工
- トーホーククレーン(株)
- (株)NICHUON
- (株)光重機
- 久光重機工業(株)
- (株)フジ鉄鋼建設

- (有)藤倉クレーン
- (株)外園運輸機工
東北支店
- 外園エンジニアリング(株)
- (有)丸全重機
- マルハマ重機(株)
- (株)ミウラ
- (有)明和機工
- 山田運送(株)
- 矢本重機興業(株)
- (株)若生技建
- (株)海星運送

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-3-2 TEL022-354-1974 FAX022-354-1978
<https://www.jccca.or.jp>

2024年4月1日建設業の「働き方改革」スタート！ 未来の建設業を守るため、自走式クレーン車の適正な運用に協力します

クレーンの日が9/30になったいきさつ

1967年11月1日に日本クレーン協会東海支部が「クレーンの日の集い」を開催して、優良クレーン運転士等の表彰や、クレーン等災害防止に関する講演や研究発表を行い、その後毎年11月1日にはこの集いを行ってきた。旧クレーン等安全規則は62年11月1日に労働基準法に基く、単独規則と

して施行され、また、この規則が、当協会設立の契機ともなったので、この11月1日は当協会として特に意義深い。この東海支部の「クレーンの日」から数年遅れて当協会と同じく、クレーン等の性能検査の代行機関であるボイラ・クレーン協会が6月6日を「クレーンの日」としてPRを始めたために同じ労働省関係の団体が異なった日を「クレーンの日」としているという体裁の悪いこととなった。(現 厚生

労働省)からも、いずれかに統一するよう勸奨されたが、それぞれ相当の年月が経過しており、いずれかに統一することは不可能となり、結局は折衷案として、9月30日に落ちつき、両協会の共同趣意書提出となったわけである。現行のクレーン等安全規則は労働安全衛生法に基く規則として、旧クレーン等安全規則が改正されたもので、72年9月30日に公布された。

産業安全関係諸規則は従来、安全が労働条件の重要な部分を占めるとして労働基準法の関係規則となっていたが、安全を確保するためには、例えば発註者、元請、下請など単なる労使関係のみでは律し得ない部分もあることから、労働基準法とは別に単独法として労働安全衛生法が72年7月に制定された。その関係規則として、現行のクレーン等安全規則が誕生したため、この9月30日も意義深い日である。

“クレーン等の調査研究・知識・資格取得のスペシャリストです”

一般社団法人日本クレーン協会東北支部

支部長 渡邊 基史

事務局 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-10-33
(第2日本オフィスビル705号) 電話022(263)3307

- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 床上操作式クレーン運転技能講習
- 玉掛け技能講習

- クレーン運転特別教育
- クレーン運転士・移動式クレーン運転士・玉掛業務従事者安全衛生教育
- 天井クレーン・移動式クレーン定期自主検査者安全衛生教育(ステッカー貼付資格者)
- クレーンに関する専門図書販売

※技能講習・特別教育・安全衛生教育等の要請講習に応じます。お気軽にご相談下さい。
※クレーン等の製造・販売・整備・設置事務所・賛助事業所・賛助者の入会をご案内しています。



地元宮城のクレーン屋

新北上重機工業株式会社

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5丁目3番2号
TEL 022(284)2222 FAX 022(284)2223
MAIL:kitakami@crocus.ocn.ne.jp



新港 機工

本社/〒983-0013 仙台市宮城野区中野字掃沼43-2
TEL.022-254-1881 FAX.022-254-1884
営業所/福島(相馬市) 事業所/ENEOS仙台製油所
■シンコークリエイト株式会社(機器設置・膜工事) TEL.022-254-2031
■新港運輸機工株式会社(重量物輸送・貨物運送業) TEL.022-352-6639
■シンコートレーディング株式会社(輸出入業務全般他) TEL.022-259-6116
<http://shinko-kiko.ocm/>

成田鋼業の技術力は
信頼された社員の集集体であり、
永遠に愛される企業として
活動していきます。



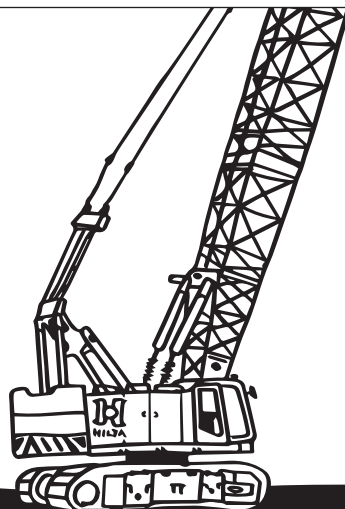
■橋型クレーン

天井・橋型他各種クレーン設計製作



■天井クレーン

ISO 9001:2015 認証取得
株式会社 成田鋼業
(本社) 仙台市若林区中倉2丁目24-5
TEL.022(235)5555 FAX.022(235)5560
〔スチール事業部〕宮城県名取市下増田字広浦35
TEL.022(384)3824 FAX.022(382)5586



株式会社ヒルタ

宮城県石巻市須江字畳石前1番15

TEL 0225-98-6828
FAX 0225-98-6865



株式会社 フジ鉄鋼建設

代表取締役 遠藤 武弘

本社/仙台市若林区卸町東4-3-6
TEL.022(288)5134代 FAX.022(288)8359
工事部/仙台市若林区卸町東4-4-7
TEL.022(385)7591代 FAX.022(385)7592



開発重機株式会社
<https://k-juki.com>

岩手県奥州市水沢工業団地1-52
TEL.0197-24-2012
FAX.0197-24-2140

The Crane Machinery
takara
www.j-takara.jp

タカラ重機 株式会社

代表取締役 青木 馨

■本社/〒990-0894 山形県山形市大字船町1080
Tel.023(684)2514 Fax.023(684)6284
■酒田支店/〒998-0125 山形県酒田市広野字十五軒38-2
Tel.0234(92)2828 Fax.0234(92)2826
■新潟営業所/〒950-0921 新潟県新潟市中央区京王2-4-15
Tel.025(286)2177 Fax.025(286)2178

「頼れる会社」を目指して

さまざまな現場で大きな力を発揮するマシン。
—希望と未来を乗せて—
トーホークレーンは今日も活躍しています。



一般貨物自動車運送業
許可新自貨第269号
トーホークレーン株式会社
代表取締役 青山 龍平

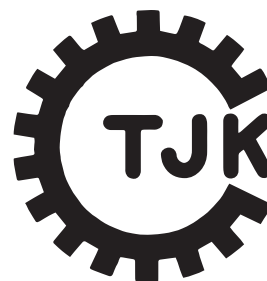
本社/〒991-0062 山形県寒河江市緑町4番地
TEL.0237(84)3335 FAX.0237(86)4611
庄内営業所/〒997-1321 山形県東田川郡三川町大字押切新田字前川原217-2
TEL.0235(26)7696 FAX.0235(26)7699
URL <https://www.toho-cr.co.jp/>

次世代の都市を構築する



三瓶重機建設株式会社
福島県須賀川市山寺道51

TEL (0248)75-3177代
URL <http://www.sanpei-jk.co.jp/>



Instagram



@TJK_TOHOKUENG

TikTok



@tjk_tohokueng



埼玉労働局長登録教習機関 登録番号第79号他 (登録期間 2024.3.31~2029.3.30)

一般財団法人
江南クレーン教習所

〒360-0115 埼玉県熊谷市成沢 893 番 048-539-0877 FAX 048-539-0876
インターネットご案内 <http://www.konan-crane.or.jp> E-mail:mail@konan-crane.or.jp
建築物石綿含有建材調査者講習 移動式クレーン運転士免許、
クレ・デリ運転士免許、 好評受付中! 江南クレーン 検索